

第12回企画展

と き 朱鷺・今私たちが問われる時代

—レッドリストの動物たち—

Message From Endangered Animals

Diamond's Evil Quartet



1998年
4月18日(土)
▼
6月14日(日)

記念行事

「みんなで考えよう動物たちの21世紀」(連続ワークショップ)
第1回 5月10日(日) 講師：各分野から専門家を迎えます
第2回 5月31日(日) 時間：10時から15時
第3回 6月7日(日) 対象：小・中学生
参加費：無料

■後援 環境庁、ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

●開館時間 午前9時30分～午後5時
〔入館は午後4時30分まで〕
●休館日 毎週月曜日

次回企画展「妖精たちのすむ森から-コスタリカの生物多様性とその保護-」
1998.7.11(土)～9.20(日)

●入館料
大 人 710円(570円)
高・大学生 430円(290円)
小・中学生 140円(70円)
※()内は20名以上の団体料金です。
※この料金には、常設展・野外施設入場料が含まれています。
※4月29日と6月5日は入館無料となります。



ミュージアムパーク
茨城県自然博物館
〒306-0622 茨城県鹿嶋市大崎700番地 TEL0297-36-2000
パロ-ダイヤルビル11号室 029-226-8600 #8686(フッシュ回線)
ホームページアドレス <http://www.nat.pref.ibaraki.jp/>

とき 朱鷺・今私たちが問われる時代 とき

Message From Endangered Animals Diamond's Evil Quartet

国際自然保護連合(IUCN)は、絶滅のおそれのある動植物種を数年ごとにまとめており、「レッドリスト」あるいは「レッドデータブック」と呼ばれます。絶滅の危険度に照らし合わせてランクを決定し、それぞれの種を選定・掲載するもので、1966年に初版が刊行されました。こうしたリスト自体は、危機に瀕する生物を直接的に保全するものではありませんが、ワシントン条約等の対象種を選定基準に用いられる他、それぞれの地域での野生生物保全活動への基礎的なガイドラインとして大きな役割を担っています。

最近では国内版リストの発刊が相次ぎ、日本でも1991年に環境庁が、レッドデータブック「日本の絶滅のおそれのある野生生物」を刊行しました。各都道府県レベルによっても、それぞれの地域性に合わせたランクによるリストが発行され始めています。

今回の企画展は、レッドリストに記載されている動物たちにフォーカスを当て、どのような理由で危機的な状況に陥ってしまったのか、またそうした事態に対する保全戦略はどうなっているのか等についてを解説し、これから私たちができることについて考える機会を提供するものです。また野生動物保全への取り組みの紹介コーナーでは、行政機関、NGO等の活動を紹介するブース展示コーナーを設けます。



アホウドリの滑空



鹿児島県沢原高原のオオウラギンヒョウモン



茨城県北で産卵するアカウミガメ



純系種危機のニッポンバラタナゴ



日本固有種のニホンザリガニ



ライデン博物館に収蔵のニホンオオカミ



交通案内

- ・常磐自動車道谷和原ICから20分
- ・JR柏駅で東武野田線乗り換え、東武野田線愛宕駅～茨城急行バス「岩井車庫行き」又は「岩井西高行き」乗車～「自然博物館入口」下車、徒歩10分

※お知らせ
毎月第2・第4土曜日は小・中・高生は入館無料になります。但し長期休暇(春・夏・冬休み)は除きます。

記念行事

●みんなで考えよう動物たちの21世紀 (連続ワークショップ)

第1回5月10日(日)

第2回5月31日(日)

第3回6月7日(日)

時間：午前10時から午後3時

対象：小・中学生40名

講師：土肥昭夫氏(九州大学)、関口晃一氏(筑波大学名誉教授)、大場信義氏(横須賀市立博物館)、長谷川博氏(東邦大学)、亀崎直樹氏(日本ウミガメ協議会)、WWFJ

※事前に電話でお申込下さい。

◆展示内容◆

第一部 減び去った動物たち

ニホンオオカミ、バリトラ、ドードー、モア、キタタキ

第二部 減び行く動物たちのケーススタディ

トキ、アホウドリ、コウノトリ、ツキノワグマ、ヒグマ、アメリカクロクマ、シロクマ、パンダ

第三部 ダイヤモンド博士の悪魔の四重奏

ツシヤママネコ、ゼニタナゴ、タイマイ、カブトガニ、オオウラギンヒョウモン、ニホンザリガニ

第四部 野生動物保全への取り組み